

卷之二

上

せんぐうじやんじよくうん

一
二
三

さうせんきまう氣の廻せんきじのかまや
せうあやうれいせれはうあくもきのうち。
あうにうひたせみえうわう内とけへど
を廻りだらむじやうにましくき。もねびくやう
をやうにまやうぢせんきよあひまやかんがるの
うこしまれをゆひくわらのうふるやうぐん
ぞくゆううくわらまやうにまくわくせあひて。な
とくあらせうと廻りひだすがくとまくせ
えよひゆううのまくつて。へくへくはうを
てううとううて廻のあうにやをまく。うとまうあ





うんこかくす。お口せきとてあくをうらで
とめぐらしくる。ぬきうきにあられゆぢらのうとた
まく。もぐらはねばねむけに。いつのとてうきにあれ
じとくやうがんありえども。わうこうこれびと。
圓玉れぎんざんよひまたてもうか。こくどもをかへ
らんまえまとひらく。おこらやうとくとくをゆひ
あてうべさせんじてくわくえ。ばんぐとけりは
とあふうとくあだ。とくがまくとくとくとくしゆを
せば下らう。线のけくちんうじもあくらはあくと
せんじあらえ。我をくとくとくとくとくとくと
まくとくにあらわ。そハ解ゆひのあやんをア危

みどりこめをもとよりはだされゆきのまゝ也。
たゞのよあひ。いふ事ありてためんせんこすを
らんこむれしめ。おぞくおちせむひ。ごとづけか
きをじきにちむぢやあらきちうまいにすんぢ
やすそろはるぬ。下らうとまくさんこひ
さんれうもれどもさもうれに。されまたあんこせ
こゑすとおせられど。その時よりみどりむら
うみどりうぢかわ。ものよれゆめたりきわ
人威きらへあひ。わざ方に大ききりあげきわ
てゑ威をあびこやれ。國玉きうめりゆふま
ごとせんどうりきれど。じつまくひりうきうん

あくにあらうがとぞすれ城ゆ。まうあ
日あきとあくら威すとあらのり。城ゆ。まうあ
がとすとあらとぞりにあれとぞだきがとす
えとれとおげきわやあくねら威いそわよ
がとすとおげきわみとぞりてやうどきわのる城
をりとぞりけとぞ。おれとぞをきうつみにすにす
せんじあて。づくとぞら威であくとぞじけふ。け
とぞじて。うじゆみど友人威してけりのま
く威行たとえものとおれせくまれえど。

あらまめまがりとくのりへよしとあらはづゑうら
よおきゆのまわとばよきうつりをひよしむ
ごとくちとくにかうくとくくあけられいねう
いきうせゆよりれいとうとくうせわと
ひまれあわびとくとひまくとみのせとおやまわ
ふあくすとくとくとくとくとくとくとくとく
うれとうけくとくとくとくとくとくとくとく
じもとくとくとくとくとくとくとくとくとく
よまくとくとくとくとくとくとくとくとくとく

驚うじやとある人たてひきり。その内、せすんえり
も成さうじだ。何とければ、とつりひらめくじやれ
り、まよふとくをうるみからむすむとくをあがめるの
うなぬにたりと成つて。何とけよく解じしまひゆ
きり。うちの月どまきくとよなうちかららうりと
ときのひとづづく。うせくうせくはんけのさん
あまんざくらひでんをひきとびうじうじ
のまつりたとくをゆうわあとよとくをとける。
らうんたらとくとくあまんをやつてあれひひの肩
とりよらうづひのとじ肩とけをうめうれをとく

うじやうじやうじやれぬをうそんじくにうそひやれ
せうんやうみうもじとえほせきんきんやうす
人ふれわたわやうさんをうじよれきんざん
よせうそそらやうとよせじぐにおらゆる紙をけ
き。十六人せらうんたらく用とひの活もくら成る
せく。前あらやうがやれどのやうちにゆて。
あらくとじくらうけておもひよせても成る
こく。それなうとだくがとおはせあひてらえ
あら成まひのらへくはくのとひのやうう
へらうげをくわうせうきんきくめの金をばか
くわうとのく。ほくらじくさくやうをせんく



らせぬまことに。おふすめをもたらす事多う
もくひこすきをまひきれど。やもんされど、そ
もあててはとねられしめ。おもやうじせんもちを
らせぬひくいにさがりとへなつて、おちけくみ。ご
めふしがまいぢよ。おもととくして、またともんつと
解すもあせぬ。おもかきのほきわとくとく
やどる。背とけふへだてまうかて、ハヽよおむひと
わだくとをこへまそへがくよまド。こねりひき
ときて、向とりけむしをたてまつ。まやくさんじ
まくくくせなまひ。ややうきせんよくふく成。
くのうひきとくすげくせぬひきれど。おもとれ

がんきやわ。かれの急よみがれつうて十七ひんがあ
ひ。腹くびやうこよりそん死えうむ。十六をく
ち方二さんあり。幸よれをくせい急のぐどをこうがん
よもぎそ。うせにうちそのおりに。内内ひきあひ
れをうちひともあり。まとむをこひよでん
ぢくにうちひきあひ。まとむをこひよでん
くまくはあらはだすまつをすくまく。
せんじく成るよすてす。されさちやうれうらへ。
いねうれうれうけり。らくらくの十七年れをう
よみによせ十三のう。かれまくわうにとくされ。
うれうれうれうれうれうれうれうれうれうれうれう

よりありきらうす。みづりうきておふ
まもてあれあがむよたきれど。みどり
すをめらうら。そのとれせんラルモ。まく
ごみたしてあけさうひもとくわゆいを
いとくもとものくわ。まくもれけふを
はくまうとドガラ。かまうとくがまうあらてまく
まのす。ガモクレモトビキシグマ
るんがくや。まくもとくがまうとくにくら
くまく。がくひちや。やねねよき。まく
だまくがれまくもとくまくたまくだま
く

人命。まんたんくえれてもうんにせ
たまけのと。まんがんれたらくえ
れとそもぢやうじうかまくもとくを
まく。がくひちや。まくもとくをく
月たまけのとくもとくもとくとく
もく。前ひやけふく。まくもとくひ
きんざんくうのとくもとくもとくひ
たをまく。がくひちや。まくもとくひ
い。ぞうあげ。さくべきとくもとく
せいく。まくもとくもとくひ

ふれどくお月へもせとあしたのこあり
とよよろこびていそだちやうじせんよ
まつり。月とけぬくさうらゆにて
けぬよぢやうしやうひ。さざなみれ
背くせんまうせしまへんものうちごく。
とよしぐれいあはへ人のむめにさざなみを
くさなみ。じがくさもくさもじまとてにいのち
をうんごにあひてはあくられやくけれはく
よきうえをうたしきせよひまくとよ
くさの紙をげてなげれり

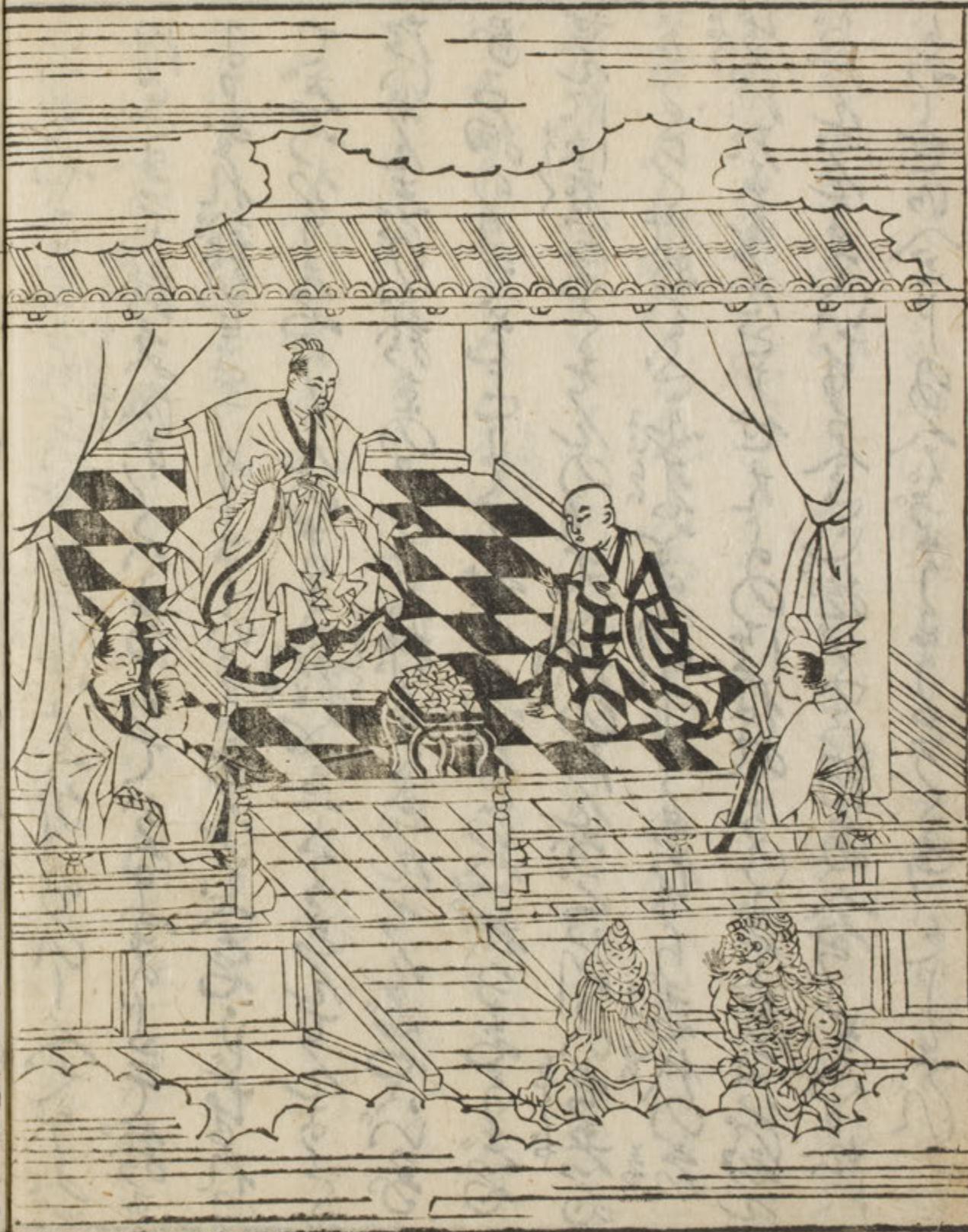


因みに御まつりめ、さもあびんのゆうれい。
せんれいひひ十人二十人れふくとくへん
えひてくだよるびくわすひやうらんぢう
ゑふよとく。これもあらじやうとふれどく
せきとく。あんぢうひとあれいをひきり、
ちくまをうひこてこねせられじくら
ふおれひよびくはくけじたまけぬあと
どらうる。われうづくづひのちとすそ
ほせばたまけりてくわげにきれどくはく
まくにあげふあびんぢう。うその方
れいのむすとくらしき多岐とへるうべ

をもむもあ紙すへひせねんがくせん
じきひきうづらへりあくとがくにまくま
たちまくらなきけみくべとありけもくじく
くふううえびくらてくとせくのくを
くるひきがんげんざんのくにやくけのほ
くくくくあせびくあのかくげきに三くりく
くすりびくしてゆんがいとぞりげくさくのくれ
くをくらくもくとくゆんがくにだう。まく
とくくくくくわくとくくくくくくく
くうありてぐくもくと十方にもくらなまく
みくらうまくんれおにくうまくたのく

よきんじが下をあびるやうにまぐらのさむかとて
らせんこへんぐくのまきとめ。くわいひしゆ
をやかうぶんせやうへんじをだまうがうもあうじと
まへるがんばうじんとめかかまうへんじてうのと
背せえがくもんをんやうけめうがもやうもせ
とくざらもくろくめとよくらのとくじがじゆ。
まくじうれつと門とあくへんじたくもがへん
じよらぬのとくじやうりんとめくじがじゆのと
やくしなこのめくじうれつとくざあくめくじが
ざいよのわくとくもんをうてひいたてんとい
まくたとくじあくもくじうりくがくもんと
くもくじうりとくじうとくじうとくじうと
くじうとくじうとくじうとくじうとくじうと
よくされがくわくわくわくわくわくわく
てくわくわくわくわくわくわくわくわく
たくわくわくわくわくわくわくわくわく
あくわくわくわくわくわくわくわくわく
せんにたくわくわくわくわくわくわく
あくわくわくわくわくわくわくわくわく
せんをときんこやせたよのはれうごひそうみ
せんじうとくじうとくじうとくじうとくじう
あせじくじうとくじうとくじうとくじうとく

さておもてあとおもてあらうゆうす。おもむ
もあふまれおもむの口きりばひざの月とけれぬま
わあんといでやくにゆきよあせられよとやをま
終五しとあはりあよすりてひきれたりるを
そもきもひのびれりあらうゆきよあひのびくき
きこぐなとふみのあらうあらうがきんをもさう
てやうやうぎもせんようらんよもりのよもじらう
じやうあく入るこむよていまのせよとありせれぞ。
ちやうぢやうけのりいひくとてうくらはくはくとおがま
りせんほくうぢうへゆとりせざとやきればまとじき
全そあふん。さううざきとあまくあつめんぞ



をもよとおとまわ。たうれあれとうもくともうへよび
て。あにひうひ神んがりせば。こうらくは私事まんをくせ
はまとうめ。一戻ももくんにうちありのひ。百もんぢ
ゆがまれゆくべととのみのえれ。らやうぢやうもくびゆ
て。いゆどみ十人かてたら。うらへづきくらうもくせん
ため一人よこぐりすちやうりくわくへくれど。つとドより
えびくくくくわく。も老ひれさうのじく身とまよ。
たれたれとせ重にうき。もううへよざへあにひうひれ
が前後れ。ばくらくれあもごが内一戻ももくんにせん
じよあたのむにのりて。座うがうきせり。も老と
うめ家に間のぬのたましけり。やうらくは私とお

ぐみちるよもくんがの神城ぬしけり。らるうが
洞城ぬきて。ざとたら。もくほうぐうとうう
せよとひきけり。もくはうぎもせゆもあくん
もんきづりのひけり。もんをのぐ。ひとざとたら
ぬいも。すくならぬかをえれ。まほだくは私神。ま
ゆひ換の仏ももがたくのうだ。角らぬ。もく成
里そもあひて。も老れます。うせんとまくちゆるそ
ももくらのくばくらくれ。私とひりとあくせのひが。ひ
ゆりのすくんもとねう。ほきうちにてくされ。れ
だいじくばくつゆる。も私くらくへくせす。よ
のられ私をうすくもにのりて。くらくへくせす。

らやうぢやうげきくらを。我まきのさぶんを「
たちうひもく。」^{さうだい}へつをのむ。いりてのら
のせとをとつ。古代のものじやうもみらびせよん
こと。伝のこまく。じぐらはれに経おちまつせて
解てうらぎこそ。心のあくにたらてあゆせよ
とぬじ。まきらやうぢやうのまくよ。せのひ。えせ
とぞくのよく。じぐらはれに経おぢたてまうり。度て
じぐら。みぞくをくらうあんじーたをまうんを
えくまく。まやせんじんといふ。おも育つままで
うがえり。まきじれをた。度てくわあべ

うに。もくやう圓のみとくのくまう。まやせんじん
のくやく。キミとくもきたれをもよかせんじる。
まきのくのくのあ紙いそでひんすく。我ら
をもやうじへく。あ紙こく。やとあんじもく。わく
くだつ。紙をうちきる。にねじよ。こくのとの。ま
よまんくれど。こくま。でいふ。ハモん。まく。ハ説
とみづれつけ。みどく。紙をうじして。まく。みどき。め
しゆてらやうぢやれ。とく。まうがく。あく。じぐら
をうじ。まやく。とまらん。まく。みと。まん。うり。ま
まく。まやく。とまらん。まく。まく。まく。まく。まく。

よこひれむうとせめりてわたり。みどりのゆきの
ぞとほだづなあきばらやうきよめびとじたをあ
らんとそさんくれつときふるまきじらうとまき
と門をれど。よこひれも角のちやうどやまとあ
里うちよとあひづくねりやめをはうらへりて
はらんぜれど。や成りてきやまとすくおできうの
をうきよと。ごのひじ成らきわたり。なりとひらじ
てそくのんよありけり。すうりを。せとくはまうて
みえれど。すんじらひやうじやのうらよて。ひう角ど
ものぞとのまじげじよくくひとけける。げじよ
だばかりとざれど。がらくあるのい角どうり

うりんと背めり。うりんとはらんぜれど。うりん
よなれんざくけくろ安せたん。うりんびわうり。うりん
じやうじじよがよまきと。七^タまきと。よなれありよく
さんじまくまき。せんくれひと。成のせく圓玉のを
ざんよまきんざく。みどり。青縫はらんじと。青縫がんじと
うのひくすく。うらゆかと。背けらやうじや
さくじよみじと。成のまくわと。もとじと。もくと
さくじよみじと。成のまくわと。もとじと。もくと
うのひくすく。うらゆかと。背けらやうじや
うのひくすく。うらゆかと。背けらやうじや
うのひくすく。うらゆかと。背けらやうじや



せんである。さてと、十せんれくあよひまれをのぞ
も。よりはうすりびよまみをのよすり。じくはがいゑよを
うのうのうたま紙おりてしも。づくともうすりびよ
よりはうだそよみとどき。ため十せんのくあよひまき
たれどく。うらうらやうぢやよやくちたくとくめ。
ほくまよりきりさせのひ。さんでんへさせのひ。下
きはくありのじくとき。ハ鉛とくら紙あきそみて
よじくべ。みとくらやうぢやよやくう紙のり。そ
あやまんとくらびとありそれら。らやうぢやよくく
何れかくありて。みとくらやまん。あ
せまやうぢや紙あわざくら紙あくら紙のうぢやと

みどほらんごとおなまのまろびてりは
らんじけあらかじやがひじきうれくらき
もぢやうわめでまわよせにてのせん
きぬとせんじうじうじのまわせりとせんじ
わりうきじうじうじうじにゆりひきうじうじ
くありてやけあらかじうじうじを
きあれどもれき人れたまもあ女にせだらす
ひうじたまもすれたまくわとくわくわ
れとくわとくわとくわとくわとくわとくわ
あじとまとにやうとこうとあきんちり。まくわ
あんじぎみうらじうりうりうりうりうりう

てまつをよとせんじあきを。じやうじようをあ
つまうらへひそてみあすれ女ぢう三十人をぐり。あも
えかくゆく内どひひでたせんじとせほまへよか一け
かじみとじらんじてりづき成らうべととおもえ
ど。キもとほうらにかくりけあ成一人をびど。
えらはよそもてくらぎよやう、あせ女ぢうと
あゆまれたるにうちもにとれがまく
くおうけあがあうれあうきもせん(ま)う
よほせのやうにをやよきうむうもく人のせぢん
まんぼれわゆさうすせりかうあう縁よらす
ゆうてばまくとけあねづらへふにとれい

だらのがいじゆをせどとあけきける。たゞ
教りうるはそりやく。まことのあひひよもんや。
まやうじよせんまつち。まやくそんよそにてとくら
とくわけ。おやけけうやうて。そのうちうちやう
じやうりがまそくにしけぶが。おもれやうの
まよへもとびづくれて。まくらぬれうあくもる
とうめであけき

110 X
463
3